



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月7日

上場会社名 米久株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2290 URL http://www.yonekyu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 青柳 敏文 TEL 055(929)2797
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	126,763	11.8	4,889	36.9	4,904	18.5	3,084	5.3
27年2月期第3四半期	113,417	7.5	3,570	354.9	4,139	612.9	2,927	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,540百万円 (20.0%) 27年2月期第3四半期 2,949百万円 (187.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	121.56	—
27年2月期第3四半期	115.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	76,350	43,208	56.6	1,703.25
27年2月期	71,839	41,443	57.6	1,631.49

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 43,208百万円 27年2月期 41,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	50.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	18.00	68.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 平成28年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 50円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	—	6,800	—	6,900	—	4,000	—	157.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 当期は決算期の変更（事業年度末日を2月末日から3月31日に変更）により、平成27年3月1日から平成28年3月31日までの13ヶ月決算となるため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名 —）、除外 — 社（社名 —）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	28,809,701株	27年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	3,441,602株	27年2月期	3,441,264株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	25,368,253株	27年2月期3Q	25,368,709株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果を背景に、企業収益や雇用情勢などが改善し、緩やかな回復基調が見られました。一方で、消費増税の影響や円安による輸入原材料価格の上昇等もあり、引き続き景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

食肉加工品業界におきましては、食肉相場が堅調に推移したものの、原材料価格の高止まりや物流費の増加等などが収益の圧迫要因となりました。今後もWHO報道による買い控えの影響や労働力不足の深刻化などが懸念され、経営環境は楽観できない状態が続く見通しです。

このようななか、当社グループは、第5次中期経営計画における各課題に対し、グループ全体で取り組んでまいりました。営業体制の強化や創業50周年記念キャンペーンの実施などにより売上高の拡大を図るとともに、製造ラインの増設や生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底等に取り組み、収益力の向上に努めました。これらに加えて、食肉相場の高値推移が収益の追い風となり、売上高・利益ともに大幅に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,267億63百万円（前年同期は1,134億17百万円）、営業利益は48億89百万円（前年同期は35億70百万円）、経常利益は49億4百万円（前年同期は41億39百万円）、四半期純利益は30億84百万円（前年同期は29億27百万円）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工品事業>

ハム等は、春と秋に実施した創業50周年記念キャンペーンも奏功し、主力商品のベーコン・焼豚等が好調に推移しました。ソーセージはテレビコマーシャルを全国規模で放映した「御殿場高原あらびきポーク」の売上が大幅に伸長、ベーコン・ロースハムは製造ラインを増設して拡販に注力しました。

デリカは、トンカツ・ミートボール・ハンバーグ等の売上が増加しました。トンカツはコンビニエンスストア向けの取引が順調に拡大、ミートボールは「米久の肉だんご 黒酢たれ」のテレビコマーシャルを投入して、積極的な販促を行いました。

以上の結果、加工品事業は、売上高が521億57百万円（前年同期は470億55百万円）と増加、当第3四半期会計期間にキャンペーン関連費用を計上しましたが、営業利益は19億74百万円（前年同期は15億42百万円）と大幅に増加しました。

<食肉事業>

牛・豚・鶏の食肉事業においては、食肉相場が堅調に推移し、生産事業の収益が増加しました。また、「六穀豚」「大地のハーブ鶏」「岩手めんこい黒牛」等のブランドミートの拡販に取り組むとともに、簡便性の高い一次加工品「マザーシェフ」のラインナップを拡大しました。加えて、採算性を重視した営業活動に引き続き注力し、収益性の向上に努めました。

以上の結果、食肉事業は、売上高が738億8百万円（前年同期は649億32百万円）と増加、営業利益は29億83百万円（前年同期は21億28百万円）と大幅に増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ45億10百万円増加（6.3%増）して763億50百万円となりました。これは現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計額は、前連結会計年度末に比べ27億45百万円増加（9.0%増）して331億41百万円となりました。これは買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産額は、前連結会計年度末に比べ17億64百万円増加（4.3%増）して432億8百万円となりました。これは記念配当を含む配当金を支払った一方、四半期純利益の増加に伴い利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月1日に公表した連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。これに伴う当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産、退職給付に係る負債及び利益剰余金、並びに当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,007	15,493
受取手形及び売掛金	19,899	18,694
商品及び製品	6,380	8,132
仕掛品	879	1,199
原材料及び貯蔵品	2,260	1,970
その他	1,175	1,058
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	42,599	46,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,146	7,536
土地	8,133	7,714
その他(純額)	4,126	5,206
有形固定資産合計	20,406	20,457
無形固定資産		
のれん	578	496
その他	516	463
無形固定資産合計	1,095	959
投資その他の資産		
その他	7,744	8,395
貸倒引当金	△6	△9
投資その他の資産合計	7,738	8,386
固定資産合計	29,240	29,803
資産合計	71,839	76,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,043	23,278
短期借入金	175	—
未払法人税等	1,626	1,125
賞与引当金	821	1,269
その他の引当金	—	33
その他	5,527	5,312
流動負債合計	28,194	31,020
固定負債		
引当金	61	77
退職給付に係る負債	515	473
その他	1,624	1,569
固定負債合計	2,201	2,121
負債合計	30,395	33,141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,375	8,375
利益剰余金	25,270	26,629
自己株式	△2,738	△2,739
株主資本合計	39,542	40,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	655	763
繰延ヘッジ損益	145	29
為替換算調整勘定	945	1,422
退職給付に係る調整累計額	99	93
その他の包括利益累計額合計	1,846	2,307
少数株主持分	55	—
純資産合計	41,443	43,208
負債純資産合計	71,839	76,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	113,417	126,763
売上原価	96,557	107,935
売上総利益	16,860	18,827
販売費及び一般管理費	13,289	13,938
営業利益	3,570	4,889
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	9	14
賃貸不動産収入	30	28
持分法による投資利益	382	—
その他	195	204
営業外収益合計	622	252
営業外費用		
支払利息	10	6
賃貸不動産費用	27	23
持分法による投資損失	—	186
その他	15	19
営業外費用合計	53	236
経常利益	4,139	4,904
特別利益		
関係会社株式売却益	—	115
補助金収入	—	14
持分変動利益	272	—
特別利益合計	272	129
特別損失		
固定資産除却損	37	38
事業譲渡損	—	30
減損損失	25	—
特別損失合計	62	68
税金等調整前四半期純利益	4,349	4,965
法人税、住民税及び事業税	1,583	1,974
法人税等調整額	△156	△88
法人税等合計	1,426	1,886
少数株主損益調整前四半期純利益	2,922	3,078
少数株主損失(△)	△4	△5
四半期純利益	2,927	3,084

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,922	3,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	107
繰延ヘッジ損益	117	△116
為替換算調整勘定	36	△6
退職給付に係る調整額	—	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△224	482
その他の包括利益合計	27	461
四半期包括利益	2,949	3,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,954	3,545
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,055	64,932	111,987	1,430	113,417	-	113,417
セグメント間の内部売上 高又は振替高	49	11,900	11,950	-	11,950	△11,950	-
計	47,105	76,832	123,938	1,430	125,368	△11,950	113,417
セグメント利益又は損失(△)	1,542	2,128	3,670	△99	3,570	-	3,570

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	52,157	73,808	125,966	797	126,763	-	126,763
セグメント間の内部売上 高又は振替高	25	13,068	13,093	-	13,093	△13,093	-
計	52,183	86,876	139,059	797	139,856	△13,093	126,763
セグメント利益又は損失(△)	1,974	2,983	4,957	△68	4,889	-	4,889

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。